

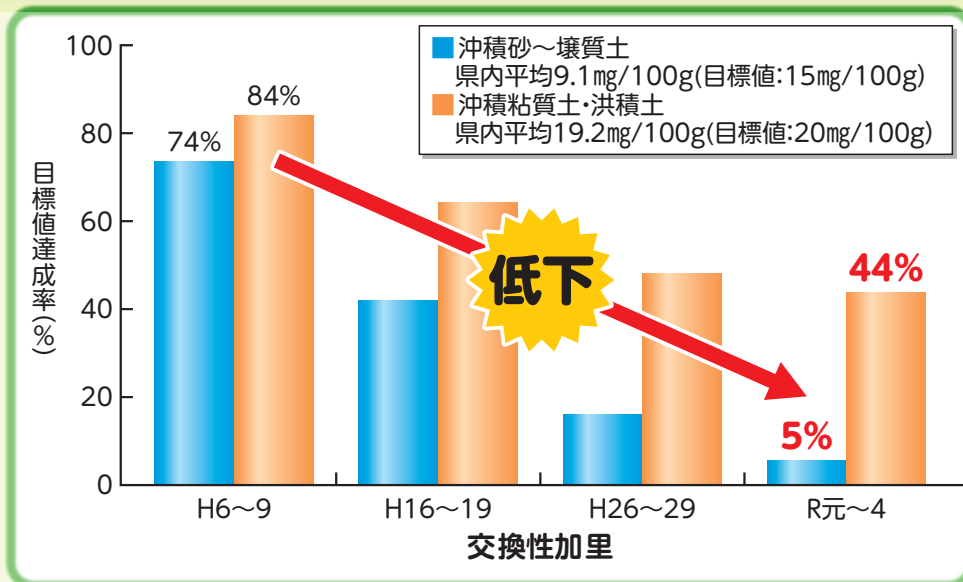
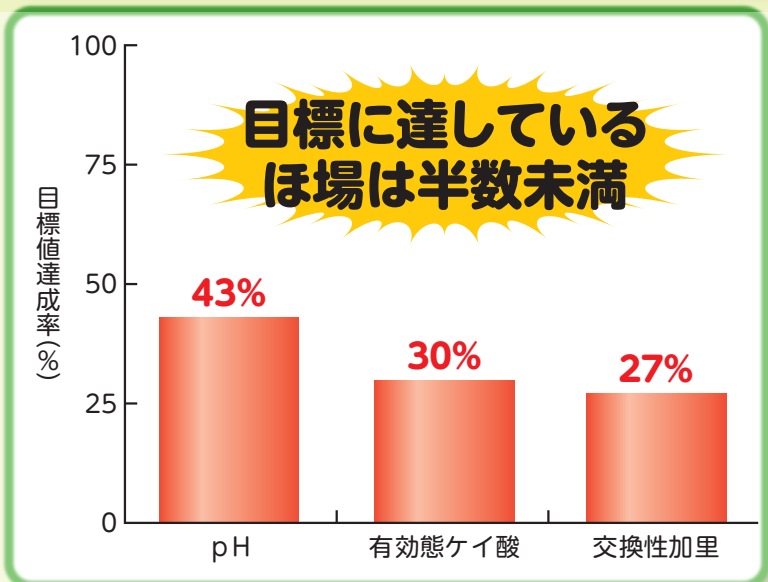
いざ土づくり! 美味しい富山を届けよう!



健全な土は、高品質で美味しい農産物を安定して供給するうえで、必要不可欠です。

県内水田土壌の目標値達成状況 (農業研究所 定点調査: 9巡目)

**pH、有効態ケイ酸、交換性加里は県内水田の大半で目標に未達!!
特に交換性加里は達成しているほ場がかなり少なく、危機的な状況!!**



1 土づくり資材の施用

1 ケイ酸の補給

水稻の受光態勢向上等による収量・品質の向上、割粃発生軽減による斑点米減少

2 加里の補給

水稻の1穂粒数増加や登熟向上、大麦・大豆の収量向上

3 適正pH(6.0~6.5)への誘導

大麦・大豆の安定した生育・収量の確保や病害・雑草の抑制等



写真: 割粃

※資材・施用量等については最寄りのJAにご相談ください。

土づくり資材を確実に施用しよう!

継続的な施用により、収量・品質を高位安定化!!



▲富山県内の
主な土づくり
資材はこちら

富山県JAグループ / 富山県土づくり資材技術連絡協議会 / 富山県

10月1日は
土の日

「秋の土づくり運動」

実施
期間

9月15日~11月15日

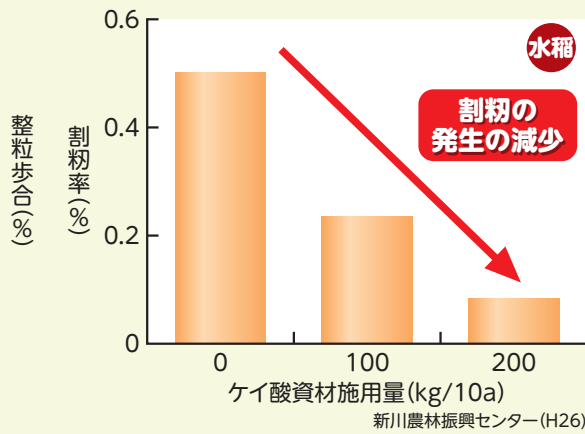
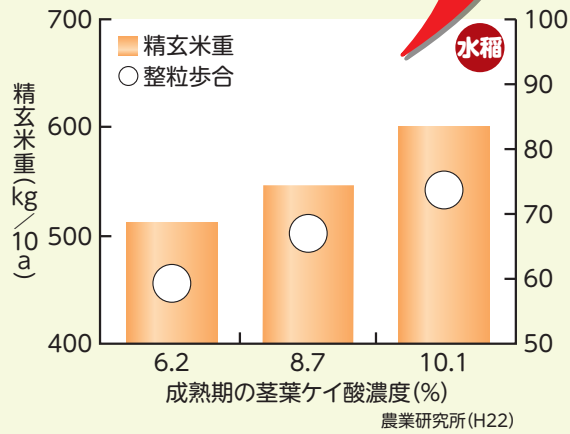
ケイ酸・加里の施用効果

ケイ酸の効果

収量・品質効果

ケイ酸を施用することで、成熟期まで葉色を維持することができるため、収量・品質の向上につながる

割籾発生軽減効果



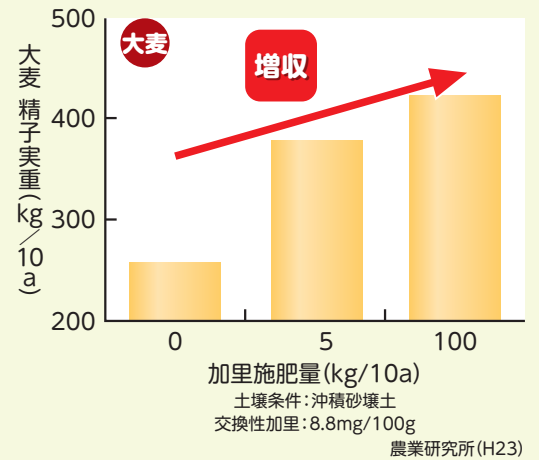
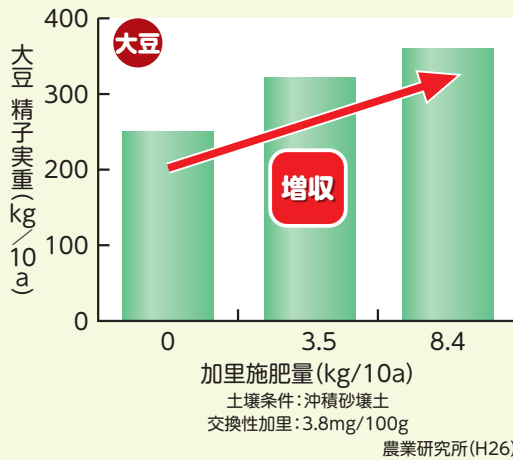
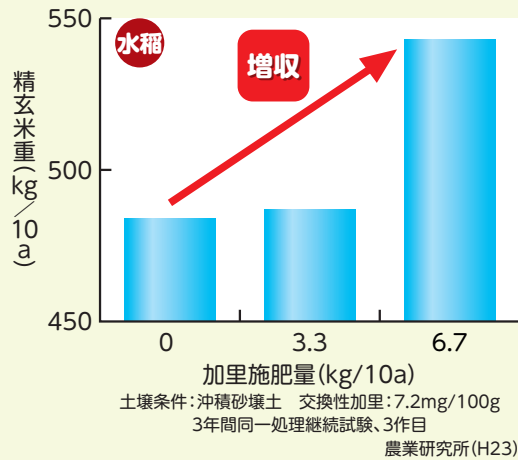
近年多発している ごま葉枯病対策



鉄・マンガンを含む資材の施用をお勧めします

加里の効果

加里不足のほ場での加里施用による増収効果



2 有機物の施用

緑肥作物の効果

① 土壌物理性の改善

腐植の増加、土壌の通気性、透水性、保水性が向上

② 後作物の収量・品質の向上効果

夏作物(クローラリア等)後水稲では、背白・基白粒の発生低減などの品質向上が、ヘアリーベッチ後大豆では、収量の増加、しわ粒の発生減少が期待できる。



クローラリア

③ 後作物の基肥減肥

土壌の窒素肥沃度が向上し、後作物の基肥の減肥が可能

④ 環境保全効果等

地力の減耗や雑草の繁茂を抑制するとともに、景観形成にも有効

斑点米カメムシの生息密度減少にも効果的!

◆ 播種とすき込みの目安

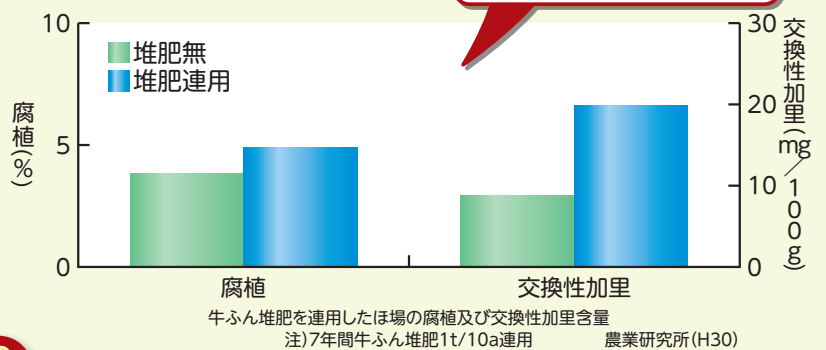
作物名	播種時期	播種量 (kg/10a)	すき込み時期の目安
ヘアリーベッチ (冬作物)	水稲刈取後 ~10月中旬	3~5	後作物(大豆)の播種日の1~2週間前
ヘアリーベッチ+ライ麦 (冬作物)	水稲刈取後 ~10月中旬	ヘアリーベッチ:2 ライ麦:5	
クローラリア (夏作物)	6月上旬 ~8月上旬	5~9	普通種:播種後50~70日 広葉種:播種後60~80日
ソルガム (夏作物)	6月上旬 ~8月上旬	4~6	出穂期前後 (播種後60~70日)
エンバク (冬作物)	秋まき9月下旬~10月中旬 春まき3~5月	8~15	出穂後、早めにすき込む。後作水稲では、遅くとも代かきの2週間前までに実施

- 栽培ポイント**
- ① 排水対策の徹底 額縁排水溝を設置し、ほ場の乾きを促進する。
 - ② 碎土率の確保 よく乾いたほ場条件で耕起する。

堆肥の効果

堆肥の施用により土壌肥沃度が向上、土壌物理性も改善

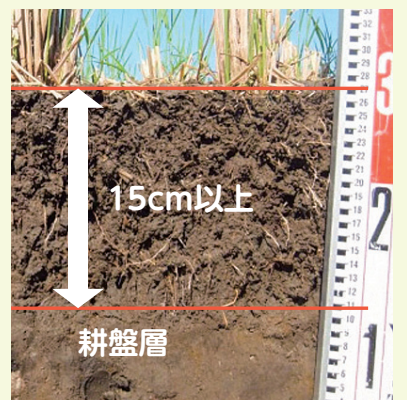
堆肥を連用すると、腐植含量や交換性加里が増加



牛ふん堆肥を連用したほ場の腐植及び交換性加里含量
注)7年間牛ふん堆肥1t/10a連用 農業研究所(H30)

3 作土深の確保

- 秋耕時の稲わらのすき込みにより、腐熟を促進する。
- 春耕時の深耕により、作物の根が深く伸長し、肥料の吸収効率が上がる。



安定した収量確保と品質向上のため15cm以上の深耕